

## 水の底力

ミネラルウォーターと呼ばれているため、ミネラルが多く含まれている水が最良の水だと思われがちです。しかし「水の底力」は

① 体に潤(うるお)を与えること	☞	水を飲みさえすれば健康になる訳ではありませんが、飲まなければ健康を「害」するでしょう。「水の力」がここにあります。
② にすなり、自然な形で吸収されること		
③ 疫力の維持と向上のための「縁の下の力持ち役」になれること		

と考えます。

ミネラルに注目するより、むしろ「体への吸収性」の善し悪しに着目すべきです。

問題は吸収性の違いを、「どんな形」で理解するかにあります。

科学的に計測が不可能な事象ですから、数値的に表す事は出来ません。

一つの方法として、一定期間(3ヶ月)飲んで見て「ご自身で体感」することをお薦めします。

この方法は、数値のマジックで一瞬理解出来たと錯覚よりも、遙かに現実的、より実践的な体感そのものです。以下は勝俣が体感した事です。

①水道水、ミネラルウォーター	②ファインアクア
1) ミネラルの量は科学的に計測が可能だから	1) クラスタ(水の集団分子)は科学的に計測が不可能だから
2) 数値化が可能であり	2) 数値化が不可能
3) 数値から導かれた「水の性格付け」を信用し易い	3) 結果として、この水に対する「信用度は低い」と言える
4) 一見、説得力があるように思うが	4) 一見、説得力が無いように思うが
↓	↓
<b>実際に飲んで見ると</b>	<b>実際に飲んで見ると</b>
↓	↓
1) 数値の違いは実感出来ないし、特別なものは何も感じない	1) 敏感な人であれば飲んだ瞬間に「滑らかさ」、「すなりさ」を感じ
↓	↓
<b>更に体を動かして見ると</b>	<b>更に体を動かして見ると</b>
↓	↓
2) やはり特別なものを感じる人はいない ・ 宣伝しているからそう思うだけあり、理解させられたに過ぎない ・ 水の本質が理解出来ず「健康体質作り」の概念は生まれない	2) 発汗性の違いを感じる人が多く ・ 事実、細かい粒の汗を大量にかく ・ この発汗性の違いこそが、「水」の吸収性の違いである(勝俣) ・ <b>ここに健康体質作りの概念が生まれる</b>

★健康体質作りに向けて ☞ 「飲むなら水を」の生活習慣を提唱します

- ① 水道水で構いません
- ② 塩素が気になるなら、「ミネラルウォーター/出来たら硬度100以内」をご利用下さい
- ③ 吸収性に優れた、ミクロクラスタ水「ファインアクア」なら申し分ございません